ISSN 0389-8636

国文学研究

第百六十九集

藤原頼長の経学と「君子」観
——『台記』を中心として——　柳川響　1

泗川の戦いにおける奇瑞の演出
——島津氏を護る狐のこと——　鈴木彰　13

能の構造と技法における様式の成立をめぐって　竹本幹夫　25

三宅嘯山の芭蕉神聖化批判
——『葎亭画讃集』「芭蕉翁讃」をめぐって——　山形彩美　38

「性格破産者」批判における「社会」表象について
——広津和郎『神経病時代』——　永吉和隆　49

〈書評〉
ハルオ・シラネ、兼築信行、田渕句美子、陣野英則編『世界へひらく和歌　言語・共同体・ジェンダー』　ツベタナ・クリステワ　60

池澤一郎著『雅俗往還——近世文人の詩と絵画——』　深沢眞二　67

鈴木登美、十重田裕一、堀ひかり、宗像和重編『検閲・メディア・文学——江戸から戦後まで／Censorship, Media, and Literary Culture in Japan: From Edo to Postwar』　金子明雄　71

日下力先生略年譜・著作等目録

新刊紹介　彙報　編集後記

早稲田大学国文学会

前号目次

「徒労」再論
——白鳥における〈家〉——　佐々木雅發　1

初期堀辰雄作品における「死」の導入
——コクトオ受容にみる作品および作家の変容——　宮坂康一　12

横光利一「家族会議」と〈新聞小説〉の時代
——「義理人情」の表象と文芸復興における「民衆」意識の接点——　古矢篤史　23

『万葉集』の訓字主体表記に見える二種の仮名
——表記環境による字母の違い——　澤崎文　34

『名目抄』所載の漢語に差された声点について
——漢語アクセント史構築のために——　上野和昭　47

〈書評〉

小村宏史著『古代神話の研究』　瀧音能之　59

新刊紹介　彙報　編集後記